

武力で平和はつくれない 東アジアの平和を築く集会

とき 12月14日 (火)

18:30～20:30 開場18:00

ところ 総評会館

2F大会議室

講演

「新安保懇報告の危険性と防衛大綱」

講 師 前田 哲男さん

(軍事評論家)

国会情勢報告(国会議員)／政府要請行動報告ほか



参加費 500円

韓国併合100年、改定日米安全保障条約調印から50年を迎えた今年、平和フォーラムは、鳩山首相(当時)が主張した「東アジア共同体」構想など、新政権が打ち出した東アジア重視の姿勢、友好関係を具体化させるためとりくみました。菅内閣に対して、韓国併合100年に際して村山首相談話の到達点を越える「首相談話」の表明を要請しましたが、8月10日に明らかにされた談話は、自公政権のもとで後退していた反省の姿勢を示す前進もありましたが、東アジアとの連帯を築くには多くの課題を残すものでした。私たちは、今春から全国ですすめてきた、植民地支配や侵略戦争の加害の責任、歴史認識の共有化と被害に対する補償など「過去の清算」、国立追悼施設の建設、北朝鮮との国交正常化交渉開始などを求める「東アジアとの新しい連帯を築くことを求める」署名を引き続き行うとともに、米国一辺倒の安全保障から、東アジアひいては環太平洋全体での安全保障体制を構築することに、平和憲法を持つ日本がリーダーシップを発揮する必要があるとして、秋季のとりくみをすすめました。

一方で、9月7日の尖閣諸島における中国漁船拿捕事件を契機に日中双方に偏狭なナショナリズムを煽る動きが強まり、非核三原則や武器輸出三原則の放棄を打ち出した8月27日の新安保懇報告や、そのもとに新防衛計画大綱や日米軍事同盟強化の動きが強められています。

こうした政府の動きを糾すため、私たちは、「東アジア連帯」署名の政府への提出とともに講演集会を行います。ぜひともご参加ください。

フォーラム平和・人権・環境

Tel 03-5289-8222 Fax 03-5289-8223 E-Mail peace-forum@jca.apc.org

千代田区神田駿河台3-2-11総評会館1F
<http://www.peace-forum.com/>